

目次

はじめに	3
PART I . CASBEE-不動産の概要	5
1. 検討の背景と本ツールの位置づけ	5
2. CASBEE-不動産の基本方針	8
3. CASBEE-不動産の評価項目	10
3.1 CASBEE-不動産の位置付け	10
3.2 評価の重み付け	11
3.3 評価項目	13
3.4 区分所有建物(フロア単位等の部分評価)の評価への拡大	21
3.5 市場における評価の位置付け	22
3.6 評価例	23
3.7 評価結果シート	24
PART II . CASBEE-不動産の評価基準	36
1. エネルギー／温暖化ガス	37
1.1 エネルギー使用・排出原単位(計算値)	38
1.2 エネルギー使用・排出原単位(実績値)	44
1.3 省エネルギー(仕様評価)	55
1.4 自然エネルギー	57
2. 水	58
2.1 水使用量(計算値)	58
2.2 水使用量(仕様評価)	62
2.3 水使用量(実績値)	64
3. 資源利用／安全	70
3.1 高耐震・免震等	71
3.2 再生材利用率他・廃棄物処理負荷抑制	73
3.3 躯体材料の耐用年数	80
3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	81
4. 生物多様性／敷地	85
4.1 生物多様性の向上	86
4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生	88
4.3 公共交通機関の接近性	89
4.4 自然災害リスク対策	91
5. 屋内環境	93
5.1 昼光利用	95
5.2 自然換気性能	99
5.3 眺望・視環境	101
5.4 改修による屋内環境向上	107

PARTⅢ. 建築環境 SDGs の概要	108
1. 建築環境 SDGs とは	108
2. 建築環境 SDGs(不動産)チェックリストの評価方法.....	116
3. 建築環境 SDGs(不動産)採点基準.....	129
参考資料	153
1. 「運用」のCO ₂ 排出量の算定方法 (既存CASBEEツール*からの部分転載).....	153
2. 一次エネルギー換算値について (平成25年経済産業省・国土交通省告示第1号).....	156
あとがき	157